

資料－５

平成２２年度第３回

沖縄総合事務局

開発建設部

事業評価監視委員会

沖縄総合事務局事業評価監視委員会に諮る
対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（沖縄県知事回答）

【沖縄県知事回答文書】

- 一般国道５８号那覇西道路事業
- 一般国道３３１号中山改良
- 一般国道３２９号宜野座改良

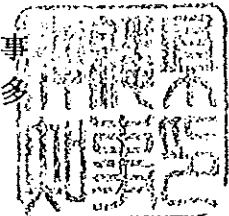
沖縄総合事務局開発建設部



土企第2424号
平成23年3月7日

内閣府沖縄総合事務局長 殿

沖縄県知事
仲井眞 弘多



沖縄総合事務局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成
に係る意見照会について(回答)

平成23年3月3日付け府開建行28号で照会のありましたみだしにつきまして、下記のとおり回答します。

記

一般国道58号那覇西道路	事業継続に同意する
一般国道331号中山改良	//
一般国道329号宜野座改良	//

沖縄総合事務局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）への意見（詳細）

参考資料

事業名	意見内容
<p>●一般国道58号那覇西道路</p>	<p>沖縄西海岸道路は、沖縄本島の道路網の骨格となる地域高規格道路であり、車社会である本島の振興発展に極めて重要な役割を担うものである。</p> <p>現在、延長約50kmの全長の各区間にて鋭意事業が推進されている。那覇西道路は、人・物の交流拠点となる那覇空港と那覇市内をつなぐ道路であり、その整備により那覇空港と那覇新港の連携強化がなされ物流の効率化が図られるとともに並行路線である国道331号や国道58号の渋滞緩和が期待されている。</p> <p>また、暫定供用している一般国道331号豊見城道路などの区間においては、渋滞緩和や豊崎タウンへの企業立地促進などの事業効果が発現しており、事業の投資効果の有効性がすでに明らかとなっている。</p> <p>このように各区間の暫定的な部分供用においても十分な事業効果が明らかとなっていることから、沖縄西海岸道路の全線を結ぶ早期整備が必要と考える。</p> <p>したがって、対応方針（原案）のとおり事業継続に同意する。</p>
<p>●一般国道331号中山改良</p>	<p>中山改良は、本島南部地域の海岸に近い丘陵地帯を通過する国道331号のバイパス区間である。当該区間に並行する国道331号は、沖縄県指定の地滑り危険箇所指定されており、落石、土砂流出といった災害が繰り返し発生している。また、道路構造は、急峻な地形のためバスやトラックなどの大型車同士のすれ違いが困難なほど線形が不良であり、通学路に指定されているにも関わらず歩道幅員が狭く、安全・安心な構造とは言い難い状況にある。</p> <p>中山改良を整備することで被災しにくい道路となり、必要幅員をもつ歩道を確保し、本来道路が持つべき機能を保持し中山地区周辺の交通安全向上に寄与できると考えられる。</p> <p>したがって、対応方針（原案）のとおり事業継続に同意する。</p>
<p>●一般国道329号宜野座改良</p>	<p>宜野座改良は、沖縄本島の骨格となる東海岸側の幹線道路である一般国道329号のバイパス区間である。当該区間と並走する国道329号は、住宅、商店、公共施設などが密集する宜野座村の中心部を通過している。</p> <p>通過交通は、大型車の混入率が高く、自転車・歩行者にとって危険な状態にある。また、急勾配や急カーブ等の線形不良箇所が複数存在し快適な走行が困難だけでなく、交通事故のおそれが非常に高い状況にある。</p> <p>これらを解消するため、当該区間が整備されつつあり、現道区間を回避することにより、現道区間の交通量が減少し、歩行者の安全性の向上や事故密度が低下するなど沿道住民の安全性が向上すると考えられる。</p> <p>また、延長2.7kmのうち1.1kmについては、平成21年3月に部分供用され、現在の事業全体の進捗状況は約8割を超えており、早期の全線供用開始が望まれる。</p> <p>したがって、対応方針（原案）のとおり事業継続に同意する。</p>